

上川町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

町内では、住民の高齢化が進んでおり、これに合わせて自家用車などの生活の足を持たず、日常生活に支障を来している住民も増加している。また、自家用車を所有していても、運転に危険を感じ、使用できない高齢者もいる。これらの状況を踏まえ、公共交通を軸としたまちづくりによる地域活性化などを行う上でも、コミュニティバスを含めた公共交通の確保が不可欠である。住民ニーズに合った、新たな交通サービスの提供と公共交通の利用拡大を行うことで、住民がより安全で安心な暮らしを実現するための交通環境を確保することを目指している。

生活交通確保維持改善計画の目標

通院や買い物、入浴などの生活面での利便性を確保し、日常生活及び地域の活性化に資する公共交通を確保する。

◆コミュニティバスの利用者数(目標) 年間5,300人以上

※車両減価償却費等国庫補助金の定量的な目標も同上

令和6年度事業概要

上川町コミュニティバス「かみくる」
上川駅前～医療センター・たいせつの絆～上川駅前

【車両減価償却費等国庫補助】

地域公共交通の現況

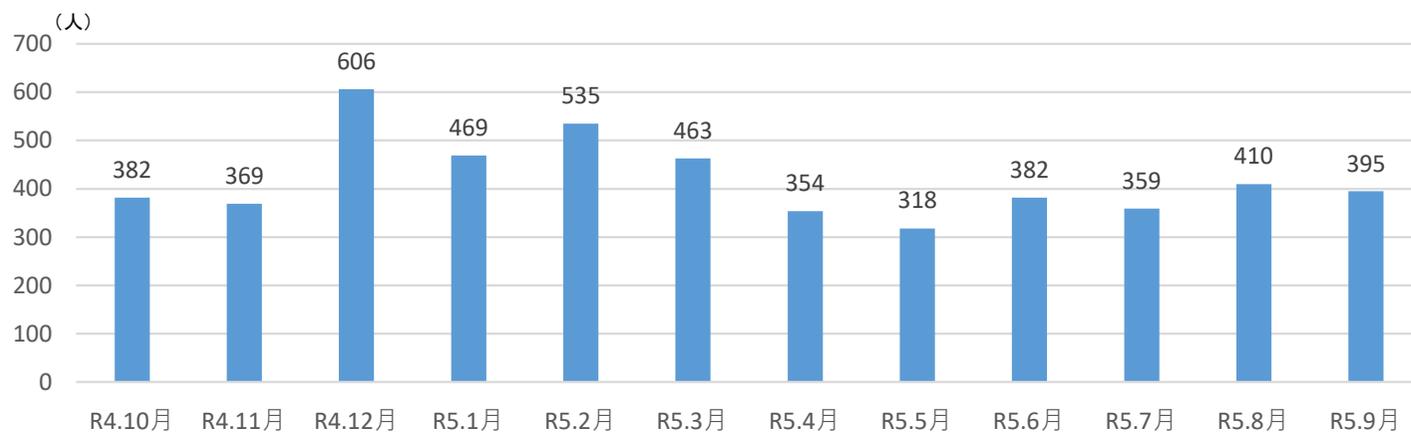
- ・JR石北本線(上川駅)
- ・道北バス(株)
(地域間幹線系統・生活交道路線)
- ・越路線デマンドバス(自家用有償運送)
- ・障害者通所送迎(福祉輸送)

協議会開催状況

- (1) 令和6年2月29日(木)上川町地域公共交通活性化協議会
・上川町地域公共交通計画の第8-2・第9章(案)について
・上川町地域公共交通計画(案)について
- (2) 令和6年3月28日(木)上川町地域公共交通活性化協議会
・上川町地域公共交通計画(案)に関するパブリックコメントの結果報告について
・上川町地域公共交通計画の提出の報告について
- (3) 令和6年6月19日(水)上川町地域公共交通活性化協議会
・令和5年度事業実績報告
・令和6年度事業(案)
・上川町コミュニティバスかみくるのルート・時刻表の変更について
・地域内フィーダー系統確保維持計画について
- (4) 令和7年1月15日(水)上川町地域公共交通活性化協議会
・地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について

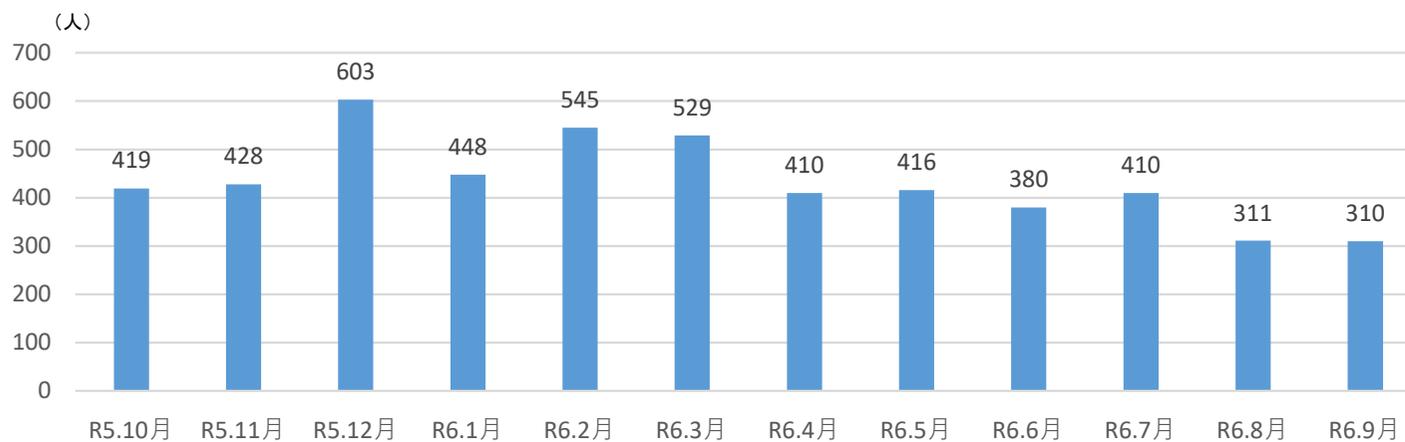
3) 利用実績

月別利用実績【R4.10.1～R5.9.30】



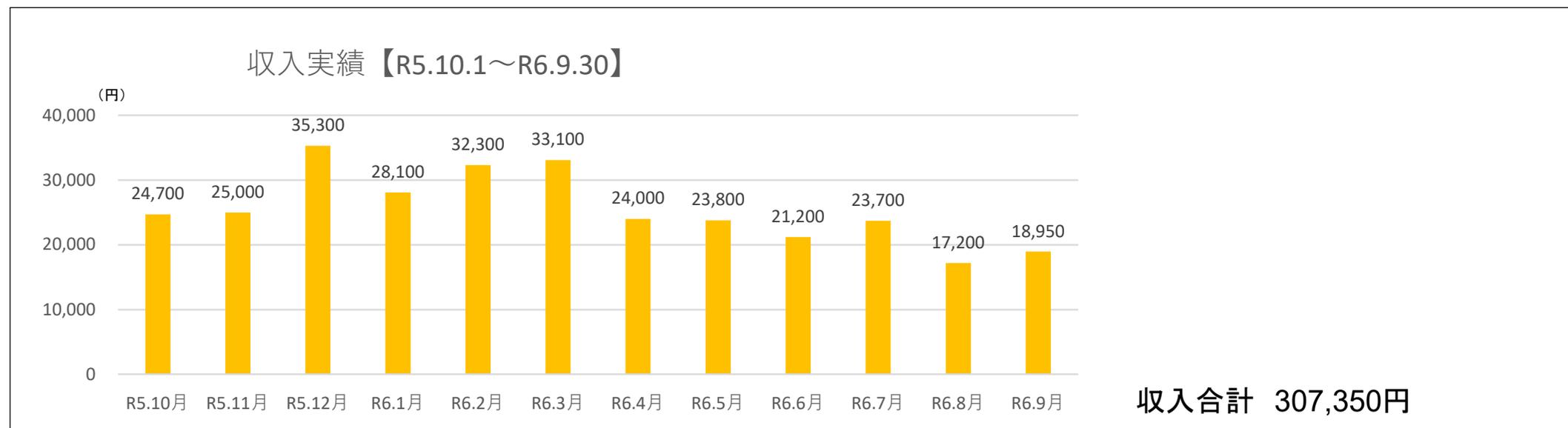
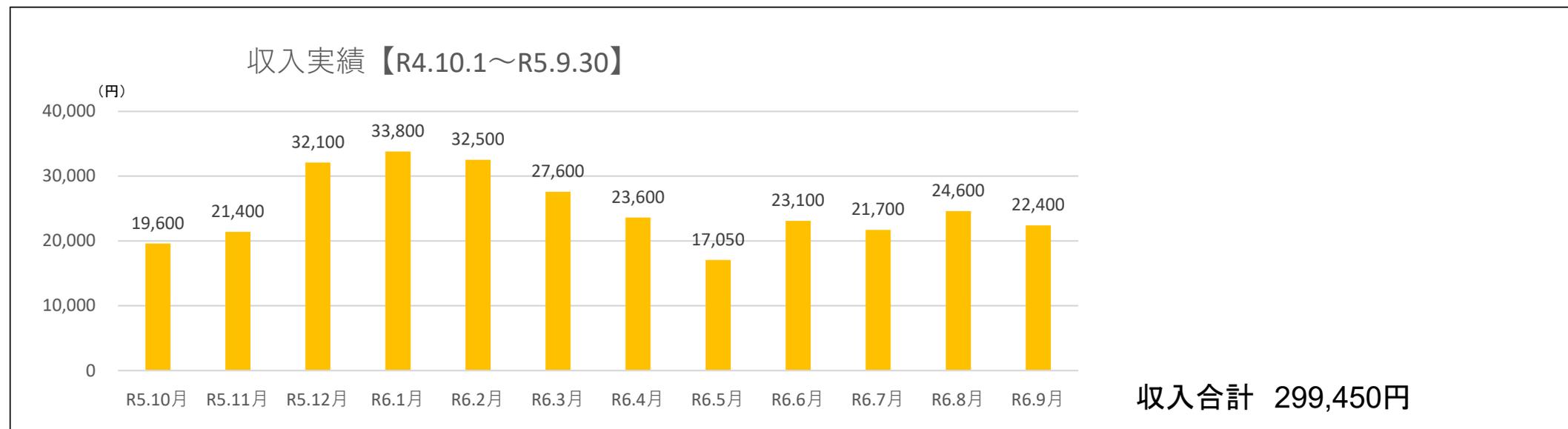
利用者合計 5,042人

月別利用実績【R5.10.1～R6.9.30】



利用者合計 5,209人

4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

事業は計画通り適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

・今年度目標乗車人数5,300人に対し、実績は5,209人となり目標値をわずかに達成することができなかった。前年度から乗車人数は約160人ほどの上昇となっている。要因としては、新型コロナ禍の影響が徐々に落ち着き各種行事やイベントの開催が通常通り開催されるなど町民の外出控えが落ち着くことを想定していたが、目標達成には至らなかった。

・車両の取得時期は予定どおり達成された。

7) 事業の今後の改善点

- ・事業として定着しており主に高齢者の移動手段として認知されているが、より一層利便性を高めるため、走行コースの検討を進めていく。
- ・また、利用者が固定されつつあることから、広報誌等での住民周知を引き続き実施し、新たな利用者の創出を行っていく。
- ・現在、上川町地域公共交通計画の策定を行っており、本計画に沿った、事業の展開・実施を行っていく。

8) 地方運輸局等における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・目標を達成することができなかったが、前年度から乗車人数は増えており、今後も地域公共交通計画に基づき、利用促進策の取組を継続することを期待する。
- ・持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。